

吉原の 太刀振

市 指定・府登録無形民俗文化財で、朝代神社に4年に1度奉納される吉原地区の伝統祭礼芸能「吉原の太刀振」。11月2日（場慣らし）・3日（本日）に朝代神社や舞鶴公園などで行われた。

吉原の太刀振は、田辺籠城の際に吉原地区の漁民たちが海の見張りを務めるなど貢献し、その功績から許された武道の型を伝えたものとされている。振りには演武の型が8つあり、幼児・成人の男性が2人1組になって太鼓や笛のはやしに合わせて演じる。

インタビュー



本来であれば去年実施する予定でしたが、コロナの影響でできませんでした。いまだ残るコロナの閉塞感を何とか吹き飛ばし、地域の活性化に少しでも役立てばと思い、役員会でも議論を重ね、5年ぶりに「吉原の太刀振」を実施できました。

こうした地域の伝統行事を通して、子ども達には地元を誇りに思えるようになってほしいと思います。

吉原太刀振保存会 会長 山尾 清明さん



前の関棒



間抜け



小太刀



小雑刀



後の関棒



大雑刀



野太刀



練り込み



露払い



囃子方（笛）



囃子方（太鼓）